



昭和34年4月18日制定

# あさひ

学校便り12月号  
平成26年11月28日  
横浜市立旭小学校

## 感謝の気持ちを

校長 伊藤 博夫

寒冷の候となりました。皆様には、お変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。

私たちは毎日大勢の人に支えられて生きています。そして、それらの人たちに感謝の念をもつことの必要性を強く感じています。これは相手が人ばかりとは限りません。自然界からも多くの恵を受けているわけです。感謝の必要性は誰でも思うことですが、実行するとなると難しいものだと、私自身も思うことが多々あります。感謝の気持ちをもたれている方に接した場合は、すぐにこちらに伝わってくるものがあります。動作にも現れるでしょうし、何よりその方の身体全体から感じられてくるものがあります。また、そのような方は、自然に対しても、例えば草花一つに寄せる思いも違うのだらうなと思います。

感謝の気持ちをもてるようになるには、教育（学校教育も家庭教育も含めて）が大事なことであると言われております。本校では、各教科・領域の授業はもちろん、日々の学校生活の中で折に触れて指導をするようにしています。ただ、すぐには結果として出てきていないのは残念なことだと思っています。効果をあげるためにもぜひ各ご家庭でも、機会あるごとに「ありがとう」や「助かりました」などの言葉が素直に言えるように、お子様に声掛けをしていただくとありがたいです。児童が関わるすべての人が人生における教師であると受け止め、その人に感謝の気持ちをもつことができたらとても素晴らしいことだと考えるのですが、いかがでしょうか。

過日、新聞のコラムにお年寄りの方がふと漏らした「ひとこと」という中に、次のような事が掲載されていました。『**できることを、できる人が、できるときにすればよい**』感謝の表し方としてなかなかよい言葉だとはお感じになられませんかでしょうか。

12月1日から7日までは人権週間です。私たち一人ひとりの基本的人権は、憲法によって保障され、偏見と差別のない社会の実現がうたわれていることは皆様をご存知のとおりです。しかし、日本では、依然として多くの課題を抱えているようです。学校・家庭・地域で一体となって人権教育に取り組んでいかねばならないと考えております。地域の皆様、保護者の皆様のお力添えをどうぞ宜しくお願い申し上げます。

11月15日には「あさひ祭り」が行われました。秋晴れの下、児童の笑顔がたくさん見られた一日となりました。PTAの皆様、地域の皆様、旭会の皆様、お力添えをありがとうございます。

年末の喧騒が、すぐそこまで来ているように感じるあわただしい昨今ですが、皆様お揃いで、よい新年を迎えられますようお祈りしております。

## 12月の取組目標



生活目標

ものを大切にしよう

保健目標

体をきたえよう

清掃目標

すみずみをきれいにしよう

給食目標

環境を整えてなごやかに会食をしよう